

日本医業経営コンサルタント協会第239回東京都支部理事会議事録

日時 令和5年9月11日(月)18時40分～19時20分
会場 Web開催
出席者 支部長 眞鍋一 (順不同・敬称略)
副支部長 薄井照人 今村顕
理事 佐藤由巳子 外山和也 永瀬隆之 森田仁計 横田克彦
吉崎隆 脇千香子
監事 小野瀬由一 竹本君江 12名

審議事項

1. 保存書類の廃棄について
支部長より、例年通り、保管期間の過ぎた書類を廃棄したい旨が述べられた。保管期間は財務関係書類が10年、その他書類が5年であり、これを過ぎたものを対象とし、昨年と同じ業者に依頼する予定であることが説明され、承認された。なお、監事の指示に従い、処分した書類の一覧表作成及び廃棄証明書を取得することが付け加えられた。
2. 会員等からの問い合わせについて
総務委員長より、ホームページを通して支部に対する営業の問い合わせがあったことが報告され、対応方法を今後のためにも整理したい旨が述べられた。具体的には、事務局が受けた問い合わせについて、個人情報等の関わりがある場合も考慮し、総務委員会で一旦引き受け、内容に応じて、各委員会或いは理事会にて回答を検討し、事務局から返答することとし、その経過について総務委員会から報告する旨の対応方法が説明され、承認された。
3. 支部理事会公開の手続き等について
総務委員長より、理事会公開の具体的な手続きについて取り決めたい旨が述べられた。支部理事会の公開は、録画動画を支部会員に限定して公開するうえで、視聴者は会員番号、名前、メールアドレスを登録し、協議中の発言に係る個人情報・秘密情報の保持について同意のもとで視聴できるものとする手順が説明され、実際の手続きの検証を当会議を事例として、当会議の出席者で予め試行することが承認された。
4. 支部研修会の開催について
企画副委員長より、計画中の「医師の働き方改革」セミナーについて説明があった。講師について、医師、看護部門については内諾を得ており、事務(コメディカル)について交渉中であることが報告された。無料参加(履修認定無し)とするため、共催について折衝を進めているなかで、近県支部の一つから共催が可能である旨の返答があったことが報告された。ハイブリッド開催とし、開催会場は東京都看護協会研修室(120人収容)、開催日を10月30日(月)としたい旨が述べられ、費用概算及び令和5年度予算として確保されている額が示され、引き続き、計画を進めることが承認された。

報告事項

1. 京都学会の参加状況
支部長より、京都学会の申込状況が報告され、参加を促す旨が述べられた。
2. 支部顧問の就任状況について
支部長より、支部顧問の就任状況について、東京都病院協会(猪口正孝会長)、東京都医師会(土屋明男副会長)、東京都看護協会(横山孝子常務理事)、東京都社会保険労務士会(寺田晃会長)、酒井一博氏(学識経験者)、佐藤文彦(医師)に支部顧問就任を依頼し、承諾を得たことが報告された。

3. 支部各種委員会報告

1) 会員支援委員会

令和4年度および令和5年度入会会員向け交流会の開催について説明があり、交流会のコンセプト案、コンテンツ案のほか、実施時期案を10月30日(月)とし、あわせて懇親会の開催も予定していることが報告された。

2) 企画委員会

計画中の研修会について途中経過の説明があった。医療機関関係者の集客及び、新規会員獲得も視野に、講演内容は医師・看護師等現場からの「医師(医療機関)の働き方改革」への対応について講演及びシンポジウムで3~4本程度、講演終了後に情報交換会を開催、ハイブリッド方式(会場+オンラインor収録後オンデマンド配信)を想定し、共催の折衝を進めていることが報告された。

3) 業務推進委員会

東京都支部ホームページへの「東京都医療勤務環境改善支援センター業務」の掲載内容について、東京都保健医療局のホームページに掲載されている同センターの紹介内容に沿ったものとし、新たな掲載内容が示された。また、医療機関勤務環境評価センターの受審申込状況について報告があった。

4) 総務委員会

総務委員会の経過として、前回理事会の議事録作成、支部運営委員会の議題及び資料の確認等と会議後に議事録作成、会員等からの問い合わせに関する対応方法及び理事会公開の手続きについて検討を行ったことが報告された。

4. 本部理事会報告について

支部長より、本部理事会報告として次の事項が報告された。①会員の入・退会等について、②二次試験(論文)の可否等について、③新潟大会について、④理事の選任に関する書類の承認について、⑤総会の招集に関する事項について、⑥寄付金について、⑦海外視察研修について。

竹本監事より次の意見が述べられた

コロナの発生状況により、研修会の集客が難しくなることもあると思われるが、もう少し詰めた感じで進めていかればよいと思う。

小野瀬監事より次の意見が述べられた

理事会のオンライン開催では、リアルとは情報の伝わり方が違うように感じることもあるが、会員向け動画での理事会公開は新しい試みとして良い試みであると思っている。会員にとって理事会の動向を知ることは良いことであるし、理事も緊張感をもった議論につながる。会員からの反応を見つつ、理事会や会員とのコミュニケーションがさらに深まることを期待する。

以上

議事録署名人	議事録署名人
9月25日	9月22日
	